

「社会福祉と高齢者サポート」

地域福祉の対象は、特定の世代に限られるものではありません。子供から高齢者まで、世代を超えて地域に暮らすすべての人々が対象であり、誰もが安心して生活できる地域社会の実現を目的としています。その中でも高齢者サポートは、地域福祉を支える最も大切な取り組みのひとつで、見守り活動や交流の場作り、日常生活の支援など、多様な取り組みが行われています。



近年、少子高齢化や核家族化の進行により、地域福祉を取り巻く課題は一層多様化、複雑化しています。これらを行政による公助だけで解決することは限界があり、地域住民同士が支え合う共助の役割がますます高まっています。東部地区社会福祉協議会は、公助では行き届かない部分を補い、地域の力を結集する共助の担い手として、さまざまな活動を続けております。

今日的な重要課題の一つに認知症予防がありますが、その基本は「人とのつながり」にあります。顔を合わせ、会話し、笑い合うことは心身の健康を保ち、認知症予防にも良い影響を与えるとされています。「つなぐ、敬老のつどい」や「三世代 Xmas コンサート」などは、世代を超えた交流の機会を促し、地域の絆を深める大切な機会となっています。

東部地区社会福祉協議会は、今年六月に設立三十周年を迎えます。これまで活動を支えてこられた先人のご尽力に深く敬意を表します。私たちは、地域の支えとして福祉活動をさらに地域に根付かせ、時代の変化に応じて進化させながら、次の世代へと引き継いでいく責務があると考えています。「できる人が、できる範囲で活動する」という理念のもと、全世代が無理なく関わり合いながら、地域福祉を支えていければと願っています。

ボランティア活動には「言い出しっぺの法則」という言葉があるそうです。何か提案した人が率先して行動することが求められ、参加にためらいが生じる場合もあります。しかし、地域福祉の向上とその持続につながることであれば、私たちは進んで「言い出しっぺ」となり、一歩踏み出す姿勢を大切にしていきたいと思えます。

東部地区社会福祉協議会の目標は、「福祉の東部」と呼ばれる地域になることです。その実現には地域の皆さん一人ひとりのご理解とご協力が欠かせません。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

認知症を学び、優しさを育む

～東小学校で「認知症キッズサポーター養成講座」が開催されました～

開催概要

- 日時: 10月20日(月) 2・3時限目
- 場所: 東小学校 家庭科室
- 参加者: 小学4年児童、東部地域包括支援センター職員2名、民生委員4名



講座の内容と子どもたちの様子

子どもたちは、認知症について楽しく学びながら、困っている人に寄り添う心を学ぶ時間を過ごしました。

・DVD鑑賞

実際の事例が示されたとき、身を乗り出して真剣に視聴する姿が印象的でした。

- ・〇×クイズ・テキスト(事前に配布された認知症に関する資料)記入
クイズには元気よく回答し、テキストには自分の考えを丁寧に書き込んでいました。



・グループワーク

「困っている人に自分たちができることは?」という問いに対し、「ゆっくりはっきり話す」「優しく教える」「手伝う」など、思いやりや優しさに満ちた意見が発表されました。

・ロールプレイング

民生委員が演じる「道に迷ったおばあちゃん」への声かけを体験。「前から声をかける」「急がず話す」など、安心感を与える工夫が見られました。



講座を終えて

子どもたちより

「認知症のことを知ることができてよかった」
「対応に困ったら大人に助けを求める」
「困っている人を助けたいと思った」
「3人に1人は認知症であることがわかった」

東部地域包括支援センターより

参加しているすべての生徒さんがとても前向きに取り組んでいるのが印象的でした。今後も地域の方々や学校の協力のもと認知症サポーター養成講座が開催できることを楽しみにしております。

(福)正心会 特別養護老人ホーム美晴らしの里

美晴らしの里は、「暮らしの場として支える特養」と「在宅生活を支えるデイサービス」という二つの役割を通じ、高齢者一人ひとりの生活を大切にすることを基本に運営しています。人生の歩みや価値観、これまで培ってきた生活習慣を尊重し、安心と尊厳のある日常を守ることが私たちの考え方です。



特別養護老人ホームでは、住み慣れた地域で暮らし続けられる生活の場として、介護・看護をはじめとする多職種が連携した支援を行っています。

デイサービスでは、リハビリテーション(個別・集団)、入浴、交流の時間を通じて、ご自宅での生活をできる限り長く続けるための力と楽しみを支えています。また、地域や関係機関とのつながりを大切にし、介護に関する相談や見学にも随時対応しています。行事や日常のふれあいを通じて、入居者・利用者に関わってくださるボランティアの皆さまのご参加も心よりお待ちしております。

デイサービス利用者様からの声



専門職の的確で丁寧な指導と細かな配慮、何でも相談できる環境です。自宅生活を長く続ける為運動を頑張り前向きに過ごさせています。

(福)流山あけぼの会 特別養護老人ホームあざみ苑

当苑は、流山市東部地区に位置している特別養護老人ホームです。

水辺公園の前なので、四季折々の草花に囲まれていて、敷地内には広大な芝生のグラウンドがあり、グラウンドゴルフや運動会等楽しいひと時を過ごせる安らぎの場となっております。地域に根差した福祉・愛され選ばれる施設を理念として掲げ、スタッフ一同日々高齢者の介護に励んでおります。

【事業内容】

- ・特別養護老人ホーム[定員 108 名]
- ・ヘルパーステーション
- ・ショートステイサービス[定員 22 名]
- ・居宅介護支援事業所
- ・デイサービス[定員 84 名]
- ・流山市東部地域包括支援センター



デイサービス利用者様からの声



毎月、いろいろなイベントを開催してくれるので、楽しく通ってるおかげで歩行訓練やリハビリも頑張れます。



特養利用者様からの声

系列の病院があるので、何があってもすぐ対応してくれるので安心です。元気なスタッフと日々過ごせて私も元気をもらってます。



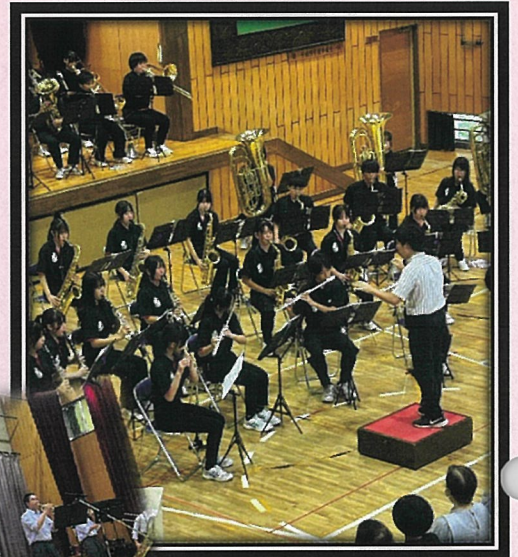
2025年度 後期 行事の様子



昔遊び



つなぐ敬老のつどい



三世代
クリスマスコンサート

1年間 ご協力を
ありがとうございました



編集後記

皆様に広報東部 59号を、「社会福祉と高齢者サポート」をテーマにしてお届けします。東部地区社会福祉協議会は、多くの方々のご協力を得て、共に住みやすい地域福祉のネットワークを作ることを目指して活動を行っています。

私たち広報委員会もそのためにチームワークを発揮し、編集会議を重ねて発行に至りました。皆様にお読みいただけることを嬉しく思います。

■■ 広報委員会一同 ■■

松の実保育園へ!

所在地 流山市名都借464番地

木々と草の香りのする空気、耳をすませば自然の醒し出す音、そして自分の存在に気づき、友だちのお話も聞こえてくる... 交通は便利とはいえませんが、子どもたちが育つにはとても良い環境です。ぜひ、一緒に子どもを育てましょう。

開園時間 午前7:00~午後7:00(土曜6:00)
産休明けから預けることができます。
電話受付(9:00~17:00) ▶ 04-7145-4312

ほんじょう 歯科医院H

正しく噛み口を開いて鼻で呼吸する事がキレイな歯並びを作ります。当院では歯が生える前から健やかなお口の発育をお手伝い致します。

【診療科目】
歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科

流山市松ヶ丘2丁目320-26
http://honjodc.jp/

ご予約お問合せ ☎04-7136-2856